

資料編

第2章 福山市の観光の現況

| | |
|-------------|----|
| 1 福山市の現状 | 68 |
| 2 福山市の観光の現状 | 73 |
| 3 福山市の観光資源 | 78 |
| 4 観光アンケート調査 | 89 |

1 福山市の現状

(1) 位置と地勢・気象

本市は、広島県の東南端、瀬戸内海沿岸のほぼ中央部にあり、南北 45.7 k m，東西 29.5 k mにわたり、面積 518.07 k m²です。

地形は全体的にみると、平坦な高原やなだらかな丘陵群と比較的広い沖積平野で構成されており、山系は標高 200mから 600mで、北部に京上山，馬乗山，西部に大谷山，高増山があり，南部には彦山，熊ヶ峰を中心とした小山が連なり，東部は低い丘陵となっています。

その中央部を流れている一級河川の芦田川は，中国地方有数の河川で，市の東北部及び中部の 50 余の支流をあわせ，その下流に福山三角州を形成し，瀬戸内海に注いでいます。

一方，市の西部，南部にも藤井川，山南川などの二級河川をはじめとする多くの中小河川があり，その下流に平地を形成しています。

また，南方海上には，仙酔島，走島，宇治島，田島，横島などの島々があります。

気候は，温暖で雨量が少なく，晴天の多い瀬戸内海式気候です。

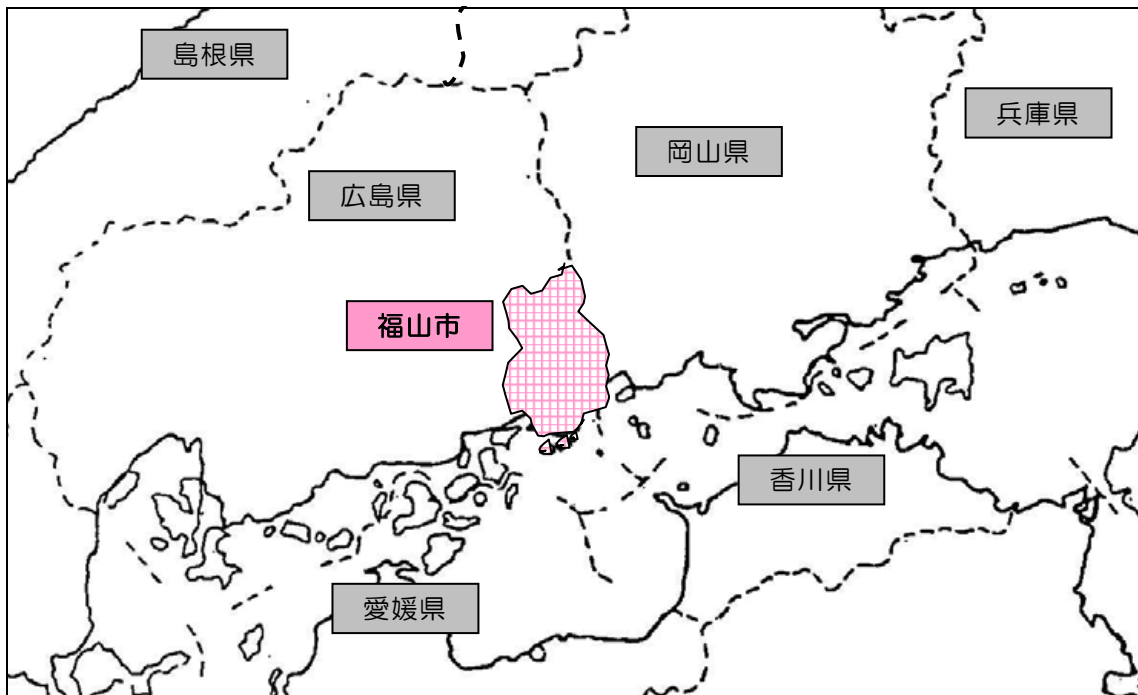


図-8 福山市位置図

(2) 歴史

福山市の歴史は、1619年（元和5年）備後10万石の領主となった水野勝成が、「福山」と命名したのが始まりといわれています。以来、城下町として整備が進められ、今日の福山の礎が築かれました。

1889年（明治22年）の市町村制により福山町となり、地方行政の中心的役割を果たし、1891年（明治24年）山陽本線開通などを契機にまちの基礎が形成されました。1916年（大正5年）は市制施行により、人口32,356人の福山市が誕生しました。

1933年（昭和8年）に隣接10村、1942年（昭和17年）に2村との合併により市域を拡大しました。1945年（昭和20年）の戦災で市街地の8割を消失したものの、その後、めざましい復興を遂げています。1956年（昭和31年）に隣接10町村と合併し、国道などの基盤整備を進めて、山陰、山陽と四国を結ぶ産業・文化・交通の要衝都市として急速に成長しました。

福山市は、古くから地場の繊維産業を基盤とする地方都市でしたが、1961年（昭和36年）の単一工場としては世界最大といわれる製鉄所の立地決定により都市のあり方が大きく変わりました。1964年（昭和39年）には、工業整備特別地域の指定も受け、わが国経済を担う重工業都市へと転換しました。

1962年（昭和37年）に深安町と、1966年（昭和41年）に松永市と、1974年（昭和49年）に芦田町と、1975年（昭和50年）に加茂町・駅家町と合併を重ねる一方、都市化の進展にあわせて、道路・公園などさまざまな都市機能の整備を進めるとともに、1988年（昭和63年）のふくやま美術館や、1994年（平成6年）のふくやま芸術文化ホール（リーデンローズ）、1995年（平成7年）の緑町公園内競技場（ローズアリーナ）、さらに1999年（平成11年）にはふくやま文学館の開館など、文化・スポーツ面の施設整備、1993年（平成5年）の山陽自動車道の開通や広島空港の開港など高速交通基盤の整備も進展しています。

また、1993年（平成5年）には福山地方拠点都市地域の指定を受け、さらに1998年（平成10年）4月には中核市へと移行する中で、福山市を中心とした中核都市圏の形成に向け、「50万都市」が有する都市機能の整備をめざし、さまざまな取組を進めています。

日常生活圏の広がりや、広域化と多様化・高度化するニーズに対応すべく、2003年（平成15年）には、内海町・新市町、2005年（平成17年）には沼隈町、2006年（平成18年）には神辺町との合併を実現し、市域面積518.07k㎡、人口約47万人となり、さらなる飛躍を遂げるため、福山市は備後地域の中核都市として「人間環境都市」を基底に、「にぎわいしあわせ あふれる躍動都市 〜ばらのまち 福山〜」を将来都市像として位置づけ、その実現に向けて取り組んでいます。

(3) 交通

本市は、山陽自動車道や1999年（平成11年）に全橋開通した「西瀬戸自動車道」などの高速自動車道が整備されるとともに、2003年（平成15年）にJR山陽新幹線の福山駅にのぞみ号が停車するようになり、また広島空港・岡山空港とのアクセスもよいことから、交通結節点としての拠点性が、近年飛躍的に高まっています。

(4) 自然公園

瀬戸内海国立公園及び山野峡県立自然公園に指定されており、風光明媚な自然環境が広がっています。

1) 瀬戸内海国立公園

瀬戸内海国立公園は、静かな海面、点在する多くの島々、白砂青松の浜、段々畑など自然と人間の営みとが一体となった独自の親しみ深い景観（多島海景観）として、1934年（昭和9年）に雲仙天草国立公園と霧島屋久国立公園とともに日本初の国立公園として指定されました。

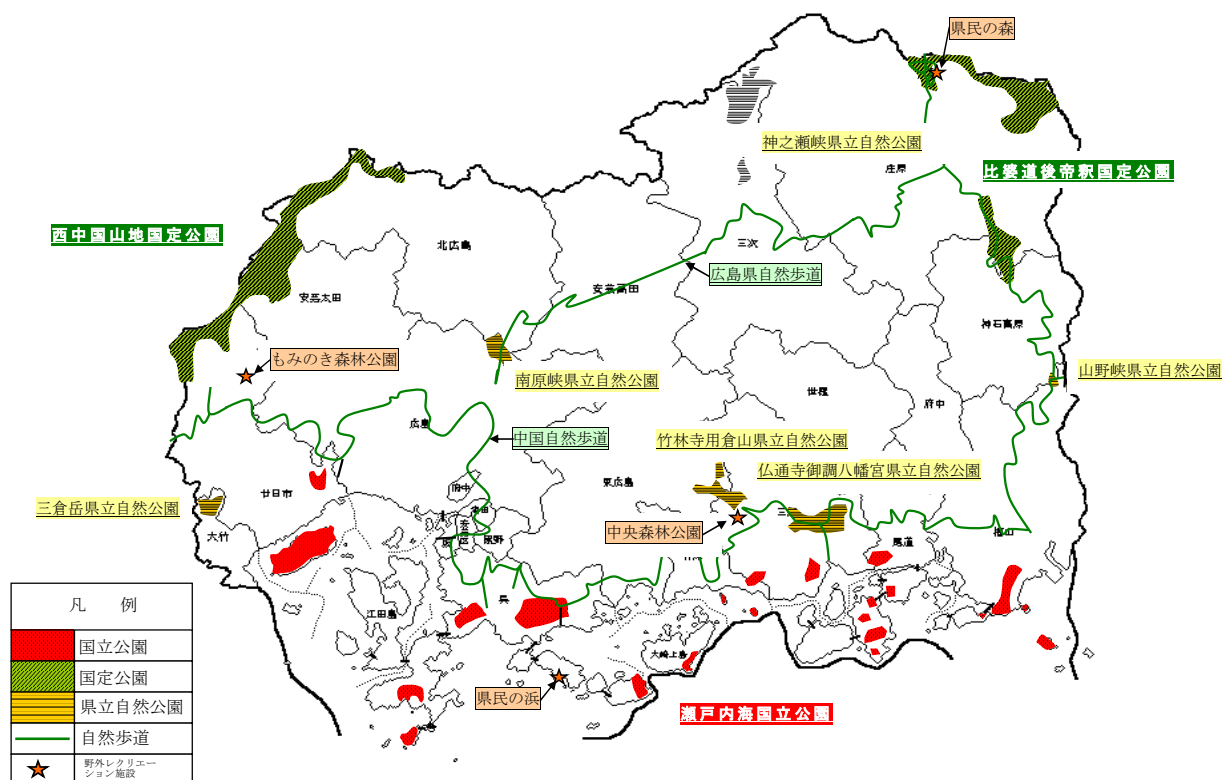
公園の中央部に位置する鞆の浦は、同公園を代表する景勝地として知られ、国の名勝にも指定されています。鞆の浦は本市南部に位置し、鞆港や仙酔島などを含む地区で、内海交易や寄港地、中継貿易地として発展しました。また仙酔島自体も雄大な海食崖や海食洞が見られ、変化に富んでいます。島内最高峰の大弥山は瀬戸内海を一望し、遊歩道が設けられています。鞆は歴史・文化地区としても価値が高く、現在も当時の港町の繁栄を残す町並みが残り、古くからの社寺もみられます。

2) 山野峡県立自然公園

本市の北部には、龍頭峡と猿鳴峡のふたつの峡谷から成る山野峡県立自然公園があります。春の桜に始まり、初夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季折々の景色が楽しめます。

龍頭峡には、落差約60mを一気に落下する龍頭の滝や、大小4段階に落差を変えて落ちる四段の滝などがあります。また、もみじ橋周辺では、かえで、けやき、ほおの木などが立ち並び、この橋から眺める紅葉は素晴らしいの一言です。

図-9 自然公園位置図

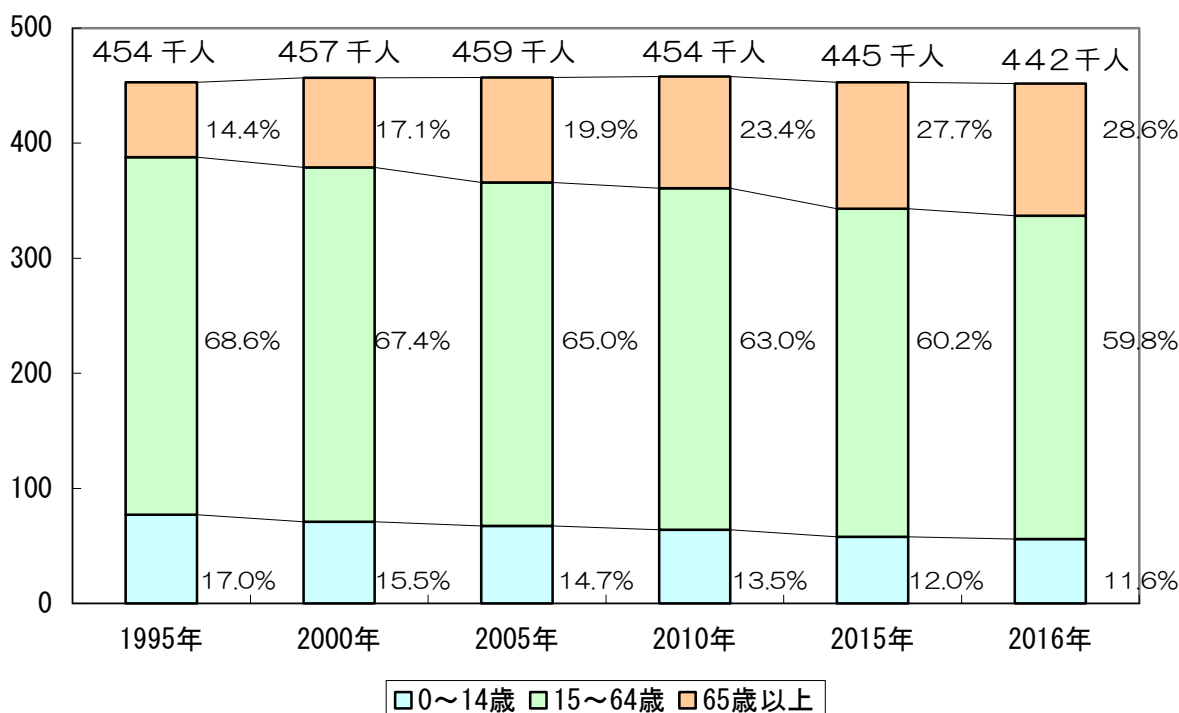


(5) 人 口

人口は、2005年（平成17年）の45万9千人をピークに少子高齢化の進行に伴って減少することが予想され、2016年（平成28年）には44万2千人になることが予想されます。

また、年齢三区分の人口割合は、総人口が減少する中で、65歳以上の割合が上昇することが見込まれます。この結果、2016年（平成28年）には、0～14歳，15～64歳，65歳以上の割合は、それぞれ11.6%，59.8%，28.6%になることが予想されます。

図-10 人口の推移



※1995年（平成7年）から2005年（平成17年）までは、総務省「国勢調査報告」で年齢不詳を含む総人口に対する割合。2010年（平成22年）以降は推計値。

(6) 産 業

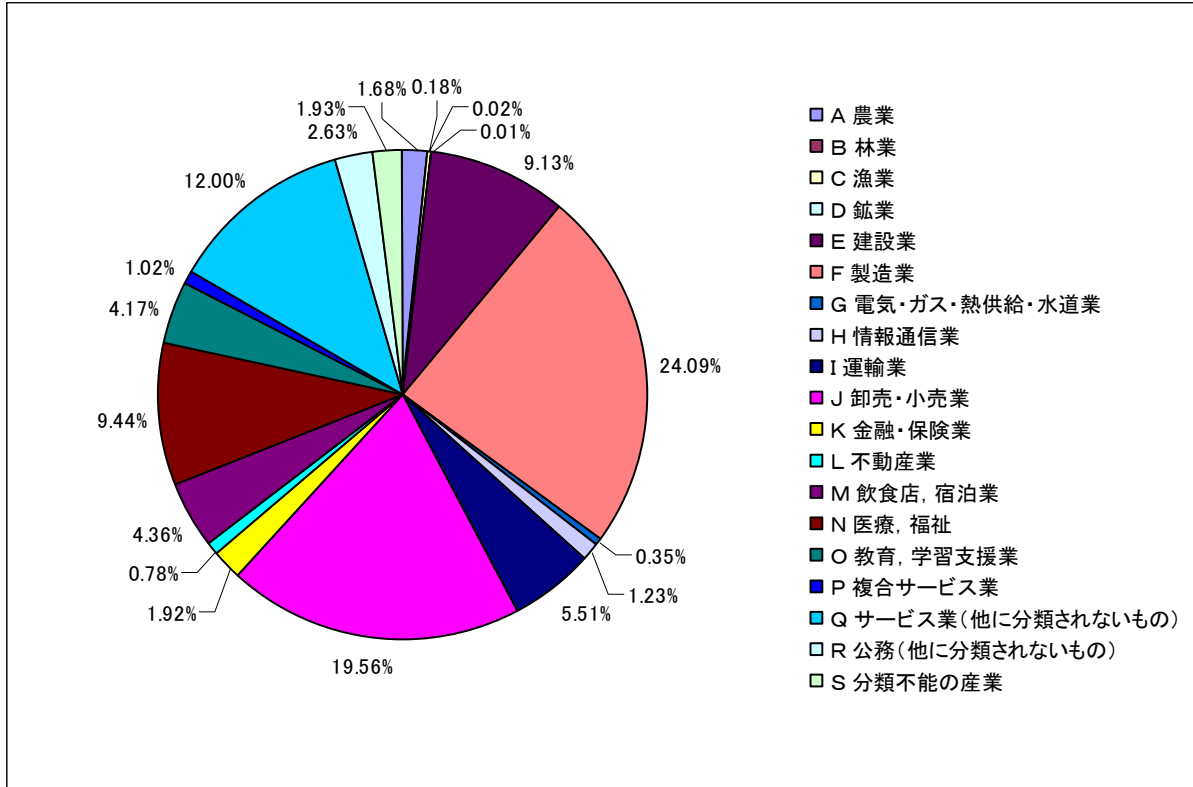
産業全体としては、本市の主要産業である製造業が、大手製鉄所の誘致以来、鉄鋼を中心とした臨海型工業都市として発展してきたことから、産業別就業者数からみると、製造業が最も多く、次いで、卸売・小売業が多くを占めています。他には、サービス業（他に分類されないもの）、医療・福祉、建設業が多くなっており、総じて第二次産業と第三次産業が多いといえます。

第一次産業は極めて、少なく、農業、林業、漁業を合わせても、全体の2%未満となっています。

表-1 産業別就業者数

| | 計 |
|---------------------|---------|
| 全産業 | 222,655 |
| A 農業 | 3,750 |
| B 林業 | 34 |
| C 漁業 | 399 |
| D 鉱業 | 19 |
| E 建設業 | 20,326 |
| F 製造業 | 53,630 |
| G 電気・ガス・熱供給・水道業 | 787 |
| H 情報通信業 | 2,731 |
| I 運輸業 | 12,269 |
| J 卸売・小売業 | 43,551 |
| K 金融・保険業 | 4,278 |
| L 不動産業 | 1,727 |
| M 飲食店、宿泊業 | 9,702 |
| N 医療、福祉 | 21,029 |
| O 教育、学習支援業 | 9,281 |
| P 複合サービス業 | 2,276 |
| Q サービス業（他に分類されないもの） | 26,708 |
| R 公務（他に分類されないもの） | 5,863 |
| S 分類不能の産業 | 4,295 |

図-11 産業別就業者数の割合



出典：国勢調査

表-2 福山市商工業規模

| | | |
|----------|-------|-----------|
| 製造品出荷額 | (百万円) | 1,583,461 |
| 卸売業年間販売額 | (百万円) | 936,824 |
| 小売業年間販売額 | (百万円) | 513,613 |
| 農業産出額 | (千万円) | 1,015 |

出典：製造品出荷額：経済産業省経済産業政策局調査統計部「平成16年工業統計表」

卸売業年間販売額：経済産業省経済産業政策局調査統計部「平成16年商業統計表」

小売業年間販売額：経済産業省経済産業政策局調査統計部「平成16年商業統計表」

農業産出額：農林水産省「平成16年生産農業所得統計」

2 福山市の観光の現状

総観光客数の推移は、1999年（平成11年）の西瀬戸自動車道開通時の636万人を最高値に、その後減少傾向を示し2004年（平成16年）には585万人となりましたが、2005年（平成17年）には、617万人と最高値に近い数値まで回復いたしました。

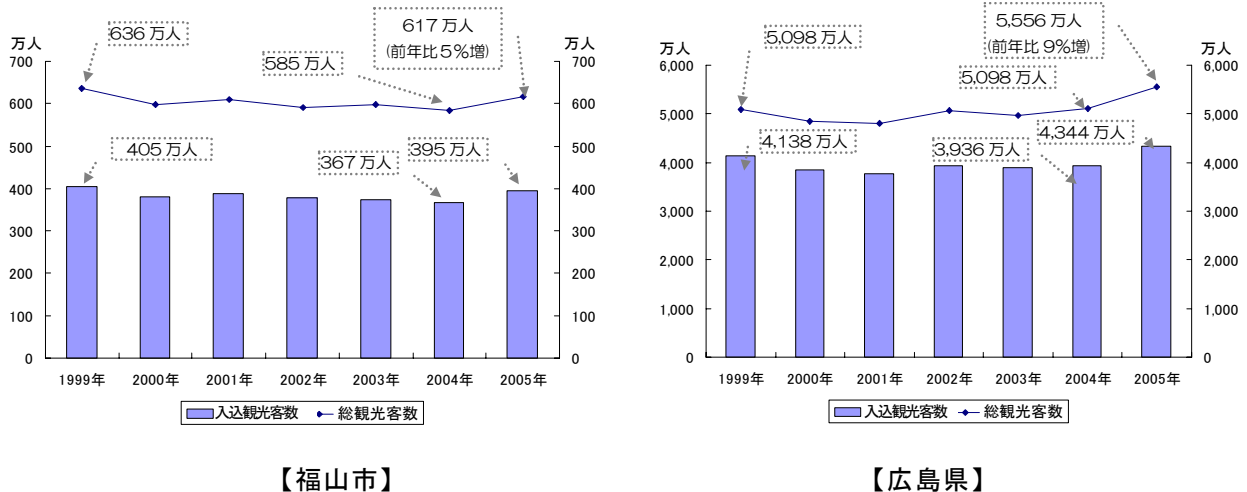
入込観光客数も同様に、1999年（平成11年）の405万人を最高に以後減少傾向にありましたが、2005年（平成17年）には395万人と最高値に次ぐ観光客数となりました。

(1) 観光客及び観光消費額の推移

広島県は、前年に引き続き2005年（平成17年）も大型観光キャンペーンを実施し、総観光客数は、1999年（平成11年）西瀬戸自動車道開通時の総観光客数を上回る過去最高を記録しました。

本市は、過去最高には達しなかったものの、西瀬戸自動車道開通時に次ぐ総観光客数となりました。しかし、全県が対前年比約9%の伸びであったのに対し、本市は5%の伸びに留まりました。

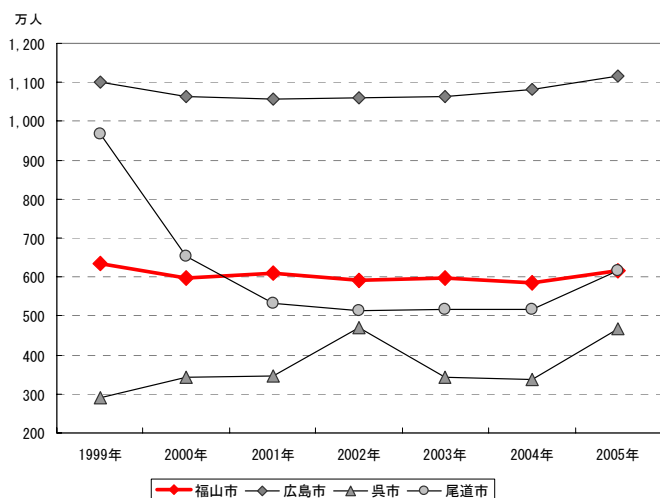
図-12 福山市及び広島県の観光客数の推移



出典：2005年（平成17年）広島県入込観光客の動向

また、県内の主要都市の総観光客数の対前年比を比較すると、広島市が微増程度だったのに対し、呉市は40%程度、尾道市は19%程度と、共に大幅な伸率となりました。

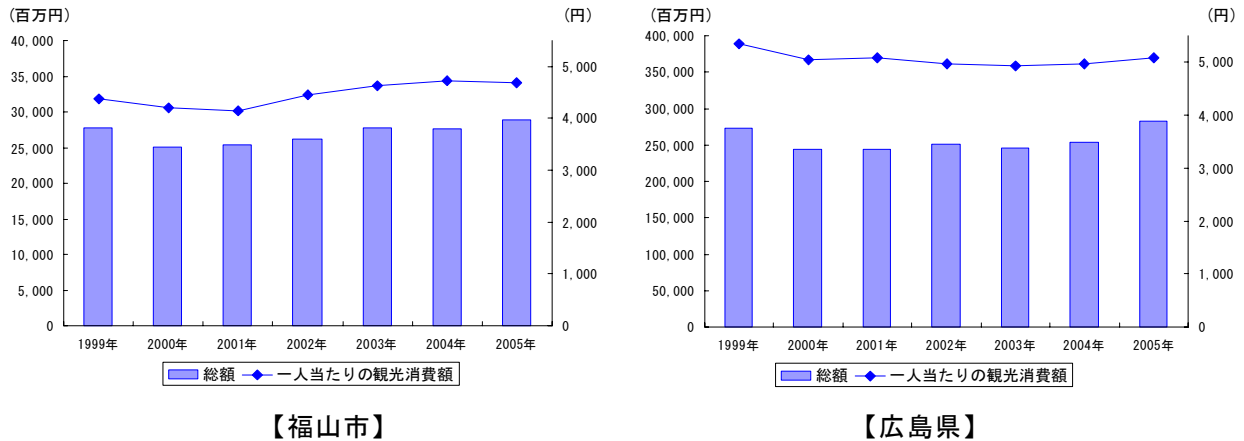
図-13 県内主要都市の総観光客数の推移



出典：2005年（平成17年）広島県入込観光客の動向

観光消費額では、2005年（平成17年）全県・本市とも過去最高額となりましたが、1人当たりの観光消費額は全県で5,084円と前年より上昇したのに対し、本市は4,684円と前年より低下しました。

図-14 福山市及び広島県の観光消費額の推移

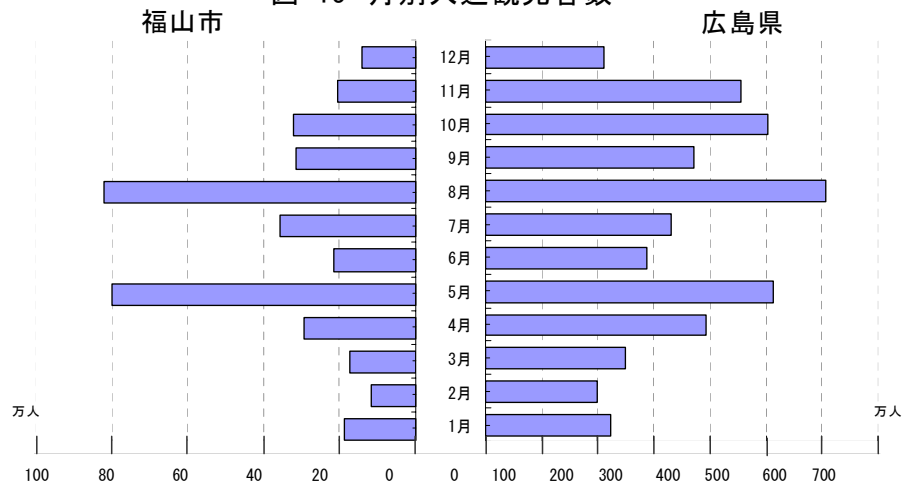


出典：2005年（平成17年）広島県入込観光客の動向

(2) 月別・目的別入込観光客数の状況

本市の2005年（平成17年）の入込観光客数は、8月の82万人が最も多く、次いで5月の80万人、7月の35万8千人の順となっています。7月・8月は夏休みで、5月は大型連休で客数が増加するほか、8月の「福山夏まつり」・海水浴、5月の「福山ばら祭」・「観光鯛網」などイベントによる影響で客数が伸びている状況にあります。

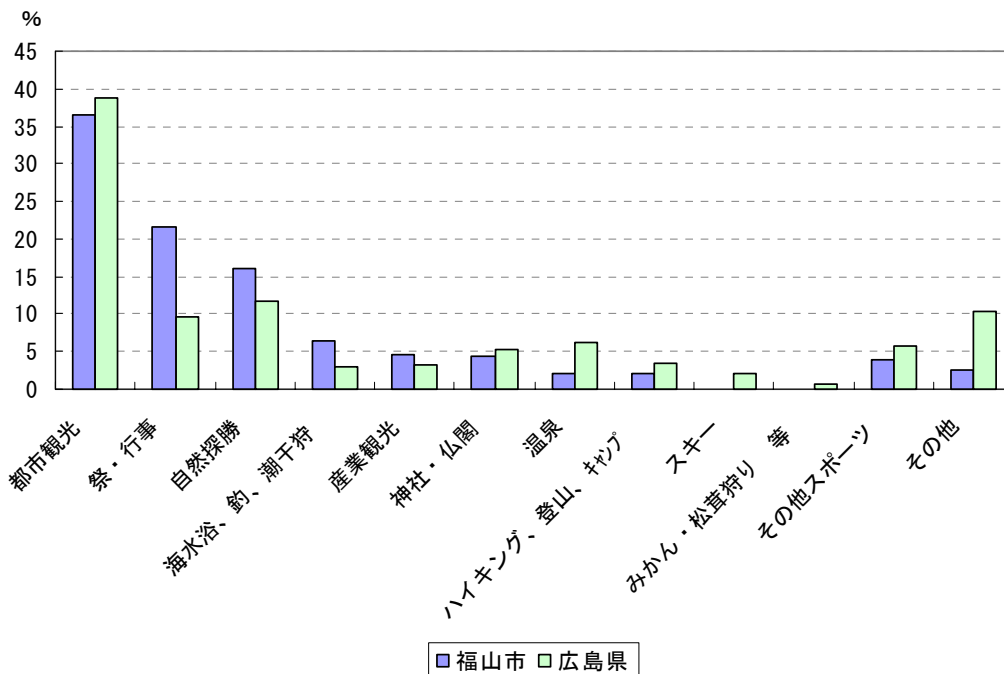
図-15 月別入込観光客数



出典：2005年（平成17年）広島県入込観光客の動向

目的別入込観光客数の状況は、「都市観光」が36.5%と最も高く、次いで「祭り・行事」の21.8%、「自然探勝」16.0%の順となっており、全県と比較して「祭り・行事」の比率が際立って高くなっています。

図-16 目的別入込観光客数の状況

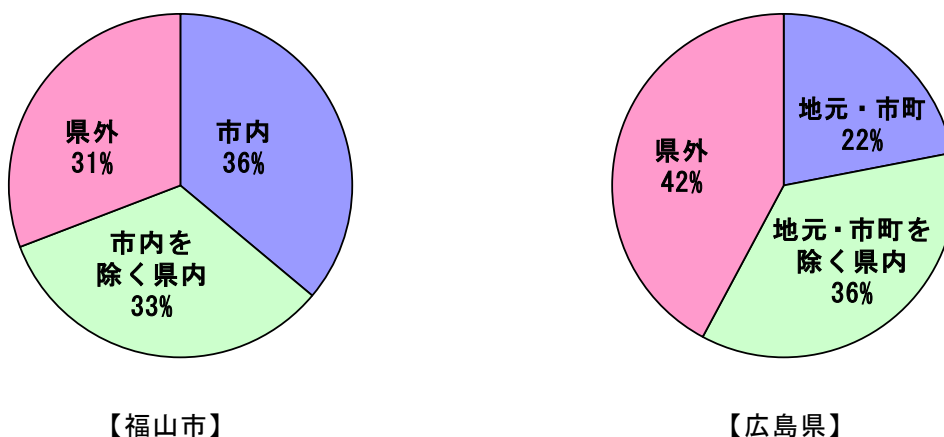


出典：2005年(平成17年)広島県入込観光客の動向

(3) 観光客層の状況

本市の発地別観光客数は市内客、市内を除く県内客、県外客とほぼ同率ですが、全県と比較すると本市の方が市内客の割合が高く、県外客の割合が低い状況にあります。

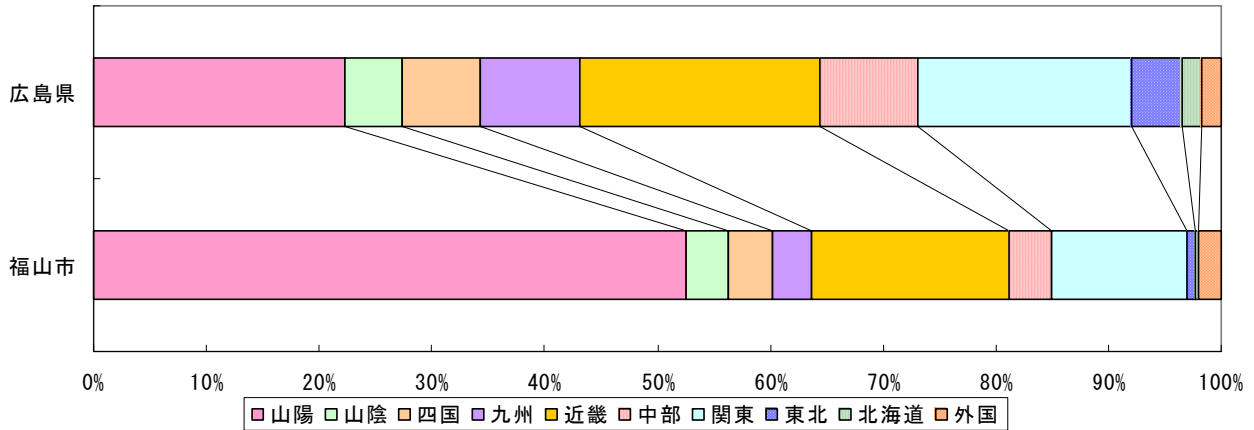
図-17 発地別観光客の割合



出典：2005年(平成17年)広島県入込観光客の動向

本市の県外客の発地別の状況について、全県と比較してみると山陽地方が圧倒的に多く、関東地方など遠隔地からの観光客が少ない状況です。

図-18 福山市への県外観光客の発地別割合

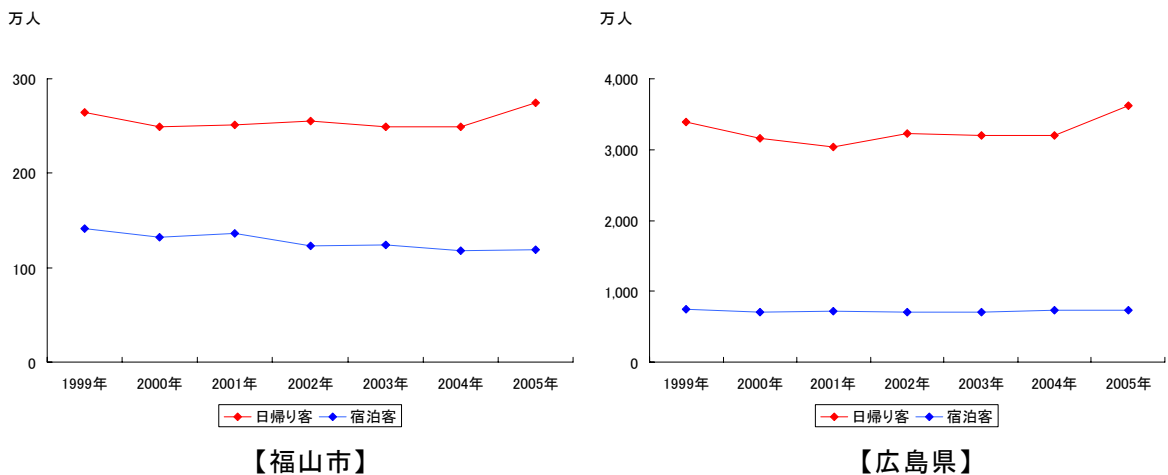


出典：2005年(平成17年)広島県入込観光客の動向

(4) 旅行形態別入込客の状況

本市の2005年(平成17年)の入込観光客のうち日帰り客数は、275万人で、前年と比べると26万人、10.4%増加しています。また、宿泊客数は前年に比べて1万人、0.8%増加し、119万人となっています。

図-19 旅行形態別入込客数

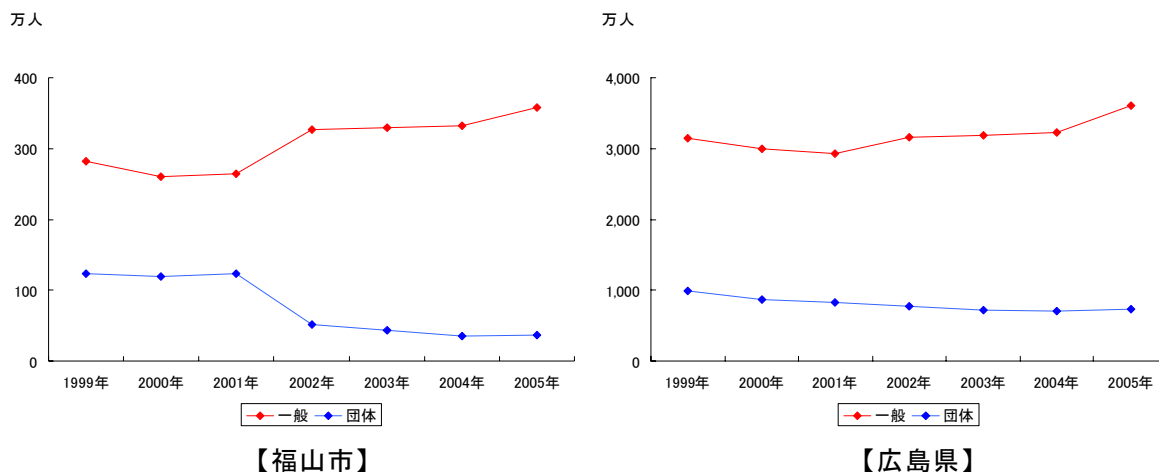


出典：2005年(平成17年)広島県入込観光客の動向

(5) 一般客、団体客の状況

本市の2005年(平成17年)の入込観光客を一般客、団体客別にみると、前年と比べ一般客は26万人、7.8%、団体客については1万人、2.9%増加となっています。

図-20 一般客・団体客別入込客数

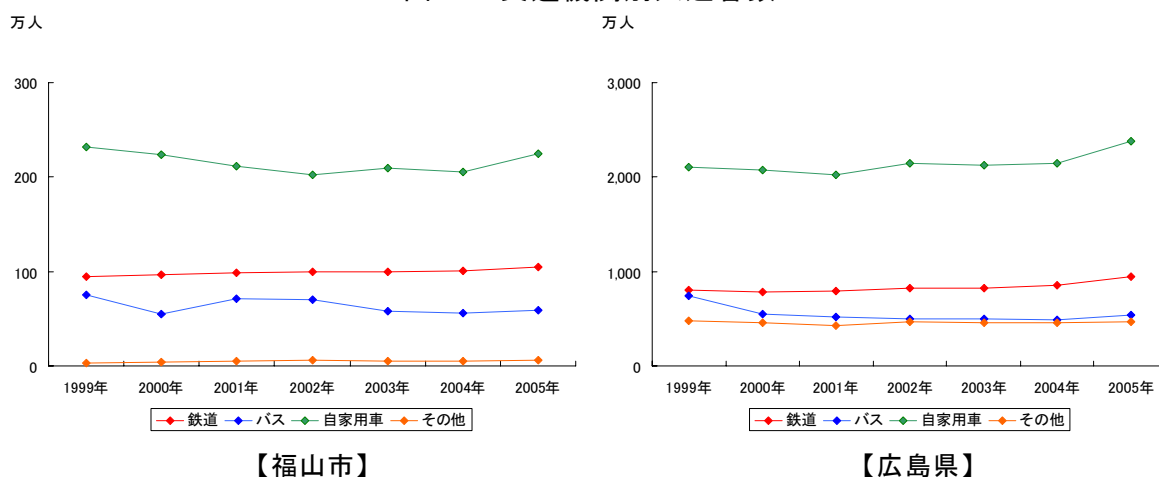


出典：2005年(平成17年)広島県入込観光客の動向

(6) 交通機関別入込客の状況

本市の2005年(平成17年)の入込観光客の利用機関をみると、自家用車を利用したいわゆる「マイカー客」が前年と比べ20万人、9.8%増加し、225万人と最も多く、マイカー客は入込観光客全体の57.0%を占めています。次いで鉄道利用客、バス利用客の順となっています。

図-21 交通機関別入込客数



出典：2005年(平成17年)広島県入込観光客の動向

3 福山市の観光資源

(1) 観光資源調査の方法

観光資源の抽出は、広く認知されていることや、今後、推奨していく必要のあると思われるものを基本に、広島県観光便覧、本市作成の観光パンフレットなどを参考に抽出しています。

観光資源の区分は、「自然」、「文化施設」、「社寺・史跡」、「レクリエーション・スポーツ施設」、「行事・イベント」、「土産品・特産品・郷土料理」の6分類に分け、観光資源を容易に想像できる概要を取りまとめます。観光資源の種別を表-3に示しています。また、観光資源のエリアを「鞆の浦」、「中央」、「芦品・加茂」、「松永・内海・沼隈」、「神辺」の5分類に分け記載しています。

表-3 観光資源の種別

| 区分 | 説明 | 種類 |
|-----------------|---|--------------------------------------|
| 自然 | 自然公園、渓谷など福山市の自然資源を示しています。 | 自然公園、温泉、渓谷、滝、海岸、橋、花・紅葉の名所、道路、河川 |
| 文化施設 | 博物館、美術館など福山市の文化・歴史などを知ることができる施設を示しています。 | 博物館、美術館、資料館、文化館、動物園、植物園、研修施設、会議場・ホール |
| 社寺・史跡 | 神社・仏閣、考古資料など、福山市の歴史資源を示しています。 | 神社・仏閣、城跡・城郭、遺跡、旧宅、文学碑、考古資料、古い町並み、その他 |
| レクリエーション・スポーツ施設 | 遊園地や体験型レジャー施設など、福山市の娯楽施設・スポーツ施設を示しています。 | レクリエーション施設、公園、国民宿舎、総合スポーツセンター |
| 行事・イベント | 主な年中行事などを示しています。 | — |
| 土産品・特産品・郷土料理 | 主な土産品・特産品・郷土料理などを示しています。 | 特産品・伝統的工芸品・農産品・郷土料理 |

【鞆の浦エリア】

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|------|-------|-----------------|-------|--|
| 鞆の浦 | 自然 | 瀬戸内海国立公園 | 自然公園 | 瀬戸内海を中心とする国立公園です。1934年(昭和9年)に雲仙天草国立公園、霧島屋久国立公園とともに、日本初の国立公園として指定されました。瀬戸内海国立公園の中心にある仙酔島は、古くから瀬戸内海の良港として栄えた鞆の浦の小島で、特異な地形、地質がみられ美しい景観を代表しています。 |
| | | 仙酔島 | | 仙酔島は豊かな自然の博物館です。島内には自然探勝のためのコースが設定されており、磯の生物や地質・植生を観察することができます。 |
| | | 鞆の浦 | | 福山市中心部より南へ14km、沼隈半島の先端にあり、瀬戸内海国立公園を代表する景勝地です。穏やかな瀬戸の海に弁天島、仙酔島などの島々が浮かぶ姿はまさに絵のようです。落ち着いた港町の風情は、人々の生活の中にいまも息づき、古き良き時代のふるさと感じさせてくれます。 |
| | | 鞆の浦温泉 | 温泉 | 歴史と潮待ちの港町にたたずむ心安らぐ温泉です。良質なラドン温泉で、神経痛・筋肉痛・健康増進など広く効能があります。 |
| | 文化施設 | 中川美術館 | 美術館 | 故宮に伝わる名品や中国国宝級の一品から中国現代絵画まで多数収蔵しています。 |
| | | いろは丸展示館 | 資料館 | 1867年(慶応3年)鞆沖で沈んだ坂本龍馬率いる海援隊が伊予大洲藩から借用した船、いろは丸の引き揚げ物、龍馬のかくれ部屋、沈没状況のジオラマなどを展示しています。 |
| | | 福山市鞆の浦歴史民俗資料館 | | 鞆城跡に建ち、鞆の歴史や鯛網漁の模型、イカリづくりの鍛冶場、鞆の浦とゆかりが深い箏曲家、宮城道雄の愛用琴などの遺品を展示しています。 |
| | 社寺・史跡 | 医王寺 | 神社・仏閣 | 桃林山慈眼院医王寺は平安時代の弘法大師の開基と伝えられる真言宗の寺院です。鞆の町並みや海が一望できます。1826年(文政9年)、オランダ医師シーボルトが医王寺に行ったことを「江戸参府紀行」に記しています。 |
| | | 対潮楼(福禅寺内) | | 江戸時代の元禄年間(1690年頃)に創建された客殿で国の史跡に指定されています。座敷からの海の眺めは素晴らしく、1711年(正徳元年)、朝鮮通信使の李邦彦は「日東第一形勝」と賞賛し、1748年(延享5年)、洪景海は対潮楼の書を残しています。朝鮮通信使遺跡、福禅寺境内は国の史跡に指定されています。 |
| | | 備後安国寺 | | 足利尊氏が元弘の乱以来の戦没者の冥福を祈って国ごとに安国寺を設けたとき、この寺を備後の安国寺としました。釈迦堂、木造阿弥陀如来及両脇侍立像、木造法燈国師坐像は国の重要文化財に指定されています。 |
| | | 沼名前神社(沼名前神社能舞台) | 城跡・城郭 | 平安時代の法令「延喜式」に記載されている古社で、鞆の祇園さんともよばれ「大綿津見命」「須佐之男命」が祀られています。豊臣秀吉ゆかりの能舞台は国の重要文化財に指定されています。 |
| | | 大可島城跡 | | 戦国時代、村上水軍の一族が大可島城を拠点に海上交通の要所である鞆の浦一帯の海上権をにぎっていました。南北朝の古戦場で慶長年間(1600年頃)鞆城を築いた時、陸続きとなり、現在ある南林山釈迦院円福寺は、真言宗でこの年代に建てられました。 |
| | | 鞆七卿落遺跡 | 遺跡 | 幕末維新の際、尊皇倒幕を唱える三条実美ら七卿は、1863年(文久3年)の政変により、長州に下ります。その途中、鞆に入り中村家(現太田家住宅)に立ち寄りました。翌年、上洛の途次、再度鞆に立ち寄って中村家で軍議を重ねました。その際、実美らは保命酒を讃える和歌を残しました。こうした歴史背景から鞆七卿落遺跡の名を残しています。 |

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|------|-----------------|---------------|------------|---|
| 鞆の浦 | 社寺・史跡 | 太田家住宅 | 旧宅 | 江戸時代初めから保命酒の醸造を始め、藩から一手に醸造販売権を与えられた「旧保命酒屋」の建物群で、18世紀中期から19世紀前期にかけての母屋と7棟の蔵が路地に囲まれた広大な敷地に立ち並んでいます。太田家住宅は、国の重要文化財に指定されています。 |
| | | 太田家住宅朝宗亭 | | 本宅と道路をはさんで東側に建てられた別宅で、藩主の来訪の際に使用されていました。敷地の西側道路に面して門屋と離屋が並び、門屋の奥に主屋が建てられています。国の重要文化財に指定されています。 |
| | | むろの木歌碑 | 文学碑 | 万葉秀歌のひとつといわれるこの歌は、730年(天平2年)大伴旅人が大宰府の役人の任期を終えて鞆の浦に寄った時、亡き妻を偲んで詠んだ歌です。 |
| | | 鞆の町並み | 古い町並み | 鞆の浦は、古くから「潮待ちの港」として栄え、古い土壁のつづく路地や情緒ある家並み、昔の土蔵などがそのまま残っており、町の雰囲気は、京都奈良にも匹敵するほどです。 |
| | | ささやき橋(伝説) | その他 | 応神天皇の頃、百濟よりの使節の接待役、武内臣和多利と官妓、江の浦はこの橋で恋を語り合いました。それが噂になり二人は海に沈められ、密語の橋と語りつがれています。 |
| | | 弁天島 | | 鞆の浦沖に浮かぶ小島。弁財天がまつられています。瀬戸内に初夏が訪れる5月の最終土曜日には、弁天島花火大会が実施されます。 |
| | | 山中鹿介首塚 | | 戦国時代の終わり、毛利氏に滅ぼされた尼子氏の家臣山中鹿介は、主家の再興を願い兵を挙げましたが1578年(天正6年)、高梁川阿井の渡で討たれました。静観寺に本陣を敷いていた室町幕府最後の将軍足利義昭は鹿介を首実検しました。 |
| | レクリエーション・スポーツ施設 | うのを里 | レクリエーション施設 | 鞆の浦の伝統商品「手にぎり鯛ちくわ」などの体験が楽しめます。他にも鞆の浦ゆかりの芸術家の作品を展示しています。 |
| | | 鞆の浦海水浴場 | | 仙酔島にある海水浴場です。 |
| | | 国民宿舎「仙酔島」 | 国民宿舎 | 瀬戸内海国立公園内にあり、キャンプ場とともに、海水浴や学習活動などアウトドア活動に利用するのに最適な施設です。 |
| | 行事・イベント | お弓神事(沼名前神社) | — | 年頭にあたり、過ぎた一年の邪気を射払って新しい年の平穏を祈る古式豊かな行事です。福山市無形民俗文化財です。 (実施時期/2月上旬) |
| | | 鞆・町並ひな祭り | | 鞆の浦の町並みのお店、旅館、民家で代々伝わっている雛飾りを公開します。江戸時代～明治にかけての貴重なお雛様が見られます。 (実施時期/2月中旬～3月下旬) |
| | | たじり杏まつり | | うらかな春の1日を杏の花と美しい瀬戸内海を眺めて田尻を散策します。また、杏船に乗って沖合いから杏の花咲く丘を眺めることができます。(実施時期/3月末) |
| | | 鞆の浦観光鯛網 | | 船団を組んで桜鯛の群れを追い、文字通りこれを一網打尽にする370年の伝統を誇る漁法の勇壮さ、華麗さと、跳ね踊る桜鯛を船上から間近に見ることができます。また、その場で捕れたての魚も販売します。 (実施時期:5月上旬～下旬) |
| | | 福山鞆の浦弁天島花火大会 | | 海上に映える多彩なイルミネーション。瀬戸内の港町ならではの情緒をかし出します。 (実施時期:5月最終土曜日) |
| | | お手火まつり(沼名前神社) | | あかあかと燃え盛る巨大なたいまつ。鞆の夏を彩る炎の行列は日本三大火祭りのひとつです。 (実施時期/7月第2日曜日の前夜) |
| | | 八朔の馬出し | | 2002年(平成14年)に復活した鞆の浦の風物詩。子どもの誕生を祝い、健やかな成長を願って町中で八朔の馬(荷台付き馬の模型)を引き回します。 (実施時期/9月) |

【中央エリア】

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|----------------------|--|------------|--|--|
| 中央 | 自然 | 芦田川 | 河川 | 母なる川、芦田川として、市民に慕われ、親しまれています。河川敷には、水辺公園などがあり、市民の憩いの場となっているほか、消防出初式や福山夏まつり花火大会が行われ、大勢の見物客でにぎわいます。また、河口には国際A級のボートコース、芦田川漕艇場があります。 |
| | 文化施設 | 国際聚蔵館 | 博物館 | 絵画や彫刻など美術品並びに、藍染に関する資料が展示されています。人が集い、日本の伝統文化や芸術を世界の人々に知っていただきたいという願いから、国際聚蔵館と名付けられました。 |
| | | 広島県立歴史博物館 | | 芦田川の川底に埋もれていた中世民衆の町「草戸千軒町」の出土品の展示や、瀬戸内の民衆の歴史と文化が学べる博物館です。 |
| | | 福山自動車時計博物館 | | 往年のなつかしい自動車や時計、生活用品などを展示。「乗って」「触って」「写真撮影」ができる体験型博物館です。 |
| | | 福山城博物館 | | 1966年(昭和41年)、市制50周年事業として建築されました。天守閣の内部は、歴代藩主の遺品、資料のほか、考古・歴史資料などを収蔵・展示しています。 |
| | | しゅや美術館 | 美術館 | 日本画壇に大きな足跡を残した小林和作画伯の作品を常設展示するとともに、地域ゆかりの画家の代表作も幅広く収集しています。 |
| | | ふくやま書道美術館 | | 福山市の出身の書家、栗原盧水寄贈による中国、日本の書画・文房に加え、桑田笹舟、谷邊橘南、宮本竹逯の作品などを所蔵・展示しています。 |
| | | ふくやま美術館 | | 福山城公園とリンクする新しい公園型美術館。20世紀ヨーロッパの美術、郷土ゆかりの作家の作品などを展示しています。 |
| | | ふくやま文学館 | | 名誉市民の作家・井伏鱒二を中心に、郷土ゆかりの文学者の足跡をたどり顕彰する施設です。愛用品の展示や、それぞれの業績・略歴・主な作品などを資料や映像で紹介しています。 |
| | | 福山市人権平和資料館 | 資料館 | 人権・平和資料を展示し、同問題解決をはじめとする人権の確立と恒久平和の実現を考えあう資料館です。 |
| | | ホロコースト記念館 | | ホロコースト記念館は、1995年(平成7年)、戦後50年の節目の年に開館しました。「ホロコースト」(ナチスによる大虐殺)を知っていただくために日本で最初につくられた子どもたちの学びの場です。 |
| | 福山市自然研修センター(ふくやまふれ愛ランド) | 研修施設 | 160人が宿泊できる宿泊棟や、大研修室・屋内運動場・野球場・サッカー場・キャンプ場・体験農園などを備え研修はもちろん、スポーツ・交流・憩いの場として幅広く利用できる施設です。 | |
| | 広島県民文化センター福山 | 会議場・ホール | 利用目的に合わせた舞台設営が可能で、客席数も530席から706席まで変えられます。クラシックからロック、邦楽、演劇、舞踊、講演会のほか能楽の演じられる舞台があり、多目的に利用できます。 | |
| ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ) | 大ホールは、客席数2003席を有し、クラシック音楽の演奏会はもちろんオペラ、バレエなどの上演に最適のホールです。小ホールは、客席数312席のワンスロープ型で、ミニコンサートや講演会、発表会に使用できます。 | | | |

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 | |
|------|-----------------|---|--|---|---|
| 中央 | 社寺・史跡 | 明王院 | 神社・仏閣 | 明王院は807年(大同2年)、弘法大師の開基と伝えられています。本堂は全体に和様、細部には唐様を用いた折衷様式で、この様式としては現存する最古の建物です。五重塔は、国宝塔の中でも5番目に古く、本堂とともに国宝に指定されています。 | |
| | | 福山城跡 | 城跡・城郭 | 徳川幕府から西国鎮護の拠点として、譜代大名の水野勝成が、1619年(元和5年)に入府し築城した城です。1945年(昭和20年)の空襲で天守閣は消滅しましたが、1966年(昭和41年)、市制50周年記念事業として再建されました。伏見櫓、筋鉄御門は共に国の重要文化財に指定されています。 | |
| | | 草戸千軒町遺跡 | 遺跡 | 福山市を流れる芦田川の河川改修工事に伴う発掘調査で存在が確認された、わが国の代表的な中世の集落跡です。 | |
| | | 広島県草戸千軒町遺跡出土品 | 考古資料 | 芦田川下流の河川敷に広がる中世の港湾都市跡からの出土品です。日常雑器から中国・朝鮮産を含む各種の陶磁器、羽子板・付札などの木簡や木製品、刀装具や手斧・銅鏡などの金属製品、筭・根付けなどの骨格製品で構成されます。国の重要文化財に指定されています。 | |
| | レクリエーション・スポーツ施設 | 福山市営競馬場 | 福山メモリアルパーク | レクリエーション施設 | 中国地方唯一の競馬場で、目の前を本物の馬が走るの子どもたちもわくわく。家族でおでかけしても楽しく過ごせます。 |
| | | | | | 園内はゴーカートなどが設置された「こどもの国」やアスレチック遊具のある「わんぱく広場」、プールやスケートのゾーンに分かれています。 |
| | | 春日池公園 | 公園 | 池を一部埋め立てて整備された公園で、三連の太鼓橋、冒険の森や、せんだんの森、バラ園、菖蒲園などを整備しており、四季折々の季節感が味わえます。 | |
| | | ばら公園 | | 1956年(昭和31年)、南公園付近の住民が、ばらの苗約1,000本を植え付けたのが、ばら公園の始まりです。その後、都市計画公園に位置づけられ、1961年(昭和36年)から、ばら花壇・生け垣・芝生などの整備が進められ、現在は、ばら280種5,500本に増えています。2006年(平成18年)、「世界ばら会連合優秀ローズガーデン賞」を受賞しました。 | |
| | | 福山城公園 | | 春には500本の染井吉野や八重桜などが咲き、秋には菊花展が開催されます。園内には、福山城博物館があり、周辺には、県立歴史博物館やふくやま美術館など周辺一帯を文化ゾーンとして文化施設が整備されています。また、公園北側の御手洗川周辺は散策コースとして親しまれるなど、多くの市民から安らぎと潤いのある文化交流の拠点として利用されています。 | |
| | | 緑町公園 | 福山市の花である「ばら」を中心とした総合公園です。六角錐状の花壇には、190種・約5,000本の「ばら」が咲き乱れます。 | | |
| | | 竹ヶ端運動公園 | 総合スポーツセンター | 福山市内の南、芦田川河口湖下流右岸に位置し、市民の総合体育施設として広く利用されています。テニス、野球、サッカー、陸上競技など屋外スポーツの場として整備されています。 | |
| | ローズアリーナ | 夏季には水深調整装置を備えた屋内50mプール(水深0m~3.1m)として子どもから大人まで利用でき、その他の時期には床パネルを敷きアリーナとして広く利用できる体育施設です。トレーニングルームも整備されており、筋力・体力アップ・健康維持に活用可能です。 | | | |

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|------|---------|-------------|----|--|
| 中央 | 行事・イベント | 福山ばら祭 | — | 市の花”ばら”をテーマに繰り広げる福山市最大のイベント。ばらが咲き誇るなか、ばら公園・緑町公園を中心としたローズパレードやローズコンサート、さらには、商店街での大道芸など多様な催しが繰り広げられます。 (実施時期／5月第3土・日曜日) |
| | | 福山毎土夜店 | | 福山市内中心部商店街で行われ、金魚すくい、輪投げ、ストラックアウトなどのゲームや楽しいイベントなど盛りだくさんです。 (実施時期6月初旬～8月中旬の毎週土曜日と夏祭りの8月13日・14日) |
| | | 福山夏まつり | | 県の無形民俗文化財に指定されている二上りおどりの大会や、日本の伝統的な花火やさまざまな仕掛花火など約13,000発が夜空を彩る花火大会が開催されます。 (実施時期／8月13日～15日) |
| | | 福山菊花展覧会 | | 福山城公園で盛大に開催される秋の風物詩です。香り高く豊潤な菊がずらりと展示されます。 (実施時期／10月21日～11月10日) |
| | | ふくやまライトフェスタ | | ふくやま美術館、県立歴史博物館を中心にビーズやペットボトル、SAORIなどを基本素材としてメインオブジェを作ります。光のオブジェとライトアップにより幻想的な世界を作ります。 (実施時期12月中旬～12月下旬) |

【芦品・加茂エリア】

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|-------|------|-----------------------|---------|---|
| 芦品・加茂 | 自然 | 山野峡県立自然公園 | 自然公園 | 龍頭峡と猿鳴峡のふたつの峡谷から成る山野峡県立自然公園。春の桜に始まり、初夏の新緑など、四季折々の景色が楽しめます。 |
| | | もみじ橋(山野峡) | 溪谷 | かえで、けやき、ほおの木などが立ち並び、この橋から眺める秋の紅葉は素晴らしいの一言です。 |
| | | 藤尾の滝(新市) | 滝 | 藤尾ダム下流の三つの滝、一の滝12m、二の滝24m、三の滝8mからなっています。しぶきをあげて落ちる流れは勇壮で、春の新緑、秋の紅葉など四季折々の美しい景色を楽しませてくれます。 |
| | | 龍頭の滝(山野峡) | | 天に昇る龍が地上に玉を吐く姿を形容して名づけられたといわれ、年中水の絶えることのない落差60mの滝は四季折々に姿を変え、その景観は圧巻です。 |
| | 文化施設 | 福山市しんいち歴史民俗博物館 | 博物館 | 福山市北西部地域の文化・文化財の保存と活用の普及を目的としており、備後緋の歩みや製造の流れを学べます。 |
| | | 福山市立動物園 | 動物園 | 福山市中心部より北西へ15kmにある動物園です。現在、アジアゾウ・キリン・ペンギンなど56種類・約350点の動物を展示しており、家族連れやグループで賑わっています。 |
| | | 広島県立ふくやま産業交流館(ビックローズ) | 会議場・ホール | 21世紀の中四国の産業情報交流拠点として、中四国最大級の展示スペース4,476㎡を有し、会議室・研修室・ホールなどを完備しています。 |

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|-------|-----------------|------------------|------------|---|
| 芦品・加茂 | 社寺・史跡 | 岩屋権現(山野) | 神社・仏閣 | 地殻変動によってできた石灰岩巨大礫(県指定の天然記念物)のほら穴があり、古来福山藩主が参詣した由緒あるお宮です。 |
| | | 吉備津神社(新市) | | 806年(大同元年)創建と伝えられる一宮は国の史跡に、吉備津神社本殿や木造狛犬は国の重要文化財に指定されています。 |
| | | 素盞鳴神社(新市) | | 茅の輪伝承の起りを伝える古くからの社です。祇園さん、天王さんといわれて親しまれています。県道沿いの門は戦国時代の山城、相方城の城門を移築したものです。 |
| | | 相方城跡(新市) | 城跡・城郭 | 標高191mの城山の山頂に築かれた戦国時代末期の山城跡で、石塁や横矢・石段が残存しています。広島県の史跡に指定されています。 |
| | | 二子塚古墳(駅家) | 遺跡 | 駅家町の平野部をみおろす東にのびる丘陵上に築かれた古墳で、この付近では墳丘、内部主体ともに最大規模を誇る。広島県の史跡に指定されています。 |
| | レクリエーション・スポーツ施設 | 山野峡県立自然公園(キャンプ場) | 公園 | 川沿いの緑林の中にあり、収容人員は約500人です。水泳や溪流釣りが楽しめ、ファイヤーサークルの設備や、駐車場も完備しています。 |
| | | 富谷ドームランド | レクリエーション施設 | 幅広い年齢層の子供が遊べるよう、幼児ゾーン、児童ゾーン・憩いゾーンに分かれています。遊具は、ドーム内のらせん滑り台、三角ハウス、不思議な鏡など138種類、293アイテムと豊富で、隣接の市立動物園とともに家族連れでにぎわっています。 |
| | 行事・イベント | 備後一ノ宮節分祭(ほらふき大会) | — | 2月3日、節分の日参拝客が夜ごもりして、夜咄しや世相批判をホラ話に仕立てて交流しあった場が今に放談会として賑やかに伝えられる「歳取り正月」の風習です。(実施時期/2月3日) |
| | | ほたる祭(駅家) | — | 地元保存会による「蛇円太鼓」の演奏や服部川に生息するゲンジボタルの幻想的な舞を鑑賞する祭り。(実施時期/6月上旬) |
| | | 祇園祭(新市) | | 地元の旧4ヶ村の人々が3体の御輿をかつぎ、街を練り歩き、最終日の夜には境内に集まり勇壮な「けんかみこし」が練り広げられます。(実施時期/7月中旬) |
| | | サッサカ(駅家) | — | ふるさとの祭りの伝承と地域のコミュニケーションの場となる夏祭りです。(実施時期/8月中旬) |
| | | 備後一の宮・市立大祭 | — | 中世のころの市の再現とみられ、毎年11月下旬に300程の露天商が軒を並べ数万人の参拝客で賑わいます。(実施時期/11月下旬) |
| | | 山野峡山開き | — | 大蛇の谷渡りや、地元産品の販売、おにぎりや豚汁の無料配布などが行われます。(実施時期/4月29日) |

【松永・内海・沼隈エリア】

表-3 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|----------|-------|------------------------|---------|--|
| 松永・内海・沼隈 | 自然 | 瀬戸内海国立公園 | 自然公園 | 鞆の浦とともに日本初の国立公園として指定された阿伏兎岬は、沼隈半島の南端に位置し、険しい海食崖が続く、奇勝と知られています。岬の突端の断崖の岩頭に立つ阿伏兎観音(磐台寺観音堂)は、その美しさから、安藤広重の浮世絵「六十余州名所図絵」にその絶景が描かれており、朝鮮通信史の文献にも紹介されています。 |
| | | 神勝寺温泉(沼隈) | 温泉 | 地下1,000mに湧くラドン温泉は効能が豊富です。緑豊かな近代庭園に包まれた露天風呂や季節ごとに変わる薬湯などバラエティー豊かな温泉メニューが温泉リゾート気分を演出しています。 |
| | | 鳶が巣(内海) | 海岸 | 田島南側、鳶が巣海岸は県の自然海浜保全地区に認定されており、むき出しの岩と緑の樹林は自然の美そのものです。 |
| | | 内海大橋 | 橋 | 1989年(平成元年)に完成した橋は、本州と島を結ぶ重要なアクセスルート。全長832m、左右には美しい海が広がります。 |
| | | 福泉坊のしだれ桜(沼隈) | 花・紅葉の名所 | 平通盛の菩提寺として伝えられる福泉坊の境内にあり、同寺によると200年ほど前に当時の住職が植えたものとされています。高さ12メートル、横幅17メートルの巨木。 |
| | | グリーンライン(県道251号後山公園洗谷線) | 道路 | 沼隈半島南端を走る約15kmのルートで、展望台から眺望する鞆の浦、尾道水道、瀬戸内の島々は、絶景です。沿線には、中川美術館、福山ファミリーパークがあります。 |
| | 文化施設 | 日本郷土玩具博物館(松永) | 博物館 | 日本や外国の郷土玩具5万点を収蔵、うち1万5千点を、地域、歳時、縁起に関わる玩具などのテーマ別に展示しています。また、玩具にさわって遊べるふれあい体験室があります。 |
| | | 日本はきもの博物館(松永) | | 日本で唯一の「はきもの」専門の博物館で古代から現代までの日本と世界のはきものを展示しています。収蔵資料のうち2,266点は国指定の重要有形民俗文化財です。 |
| | | 福山市ぬまくま文化館(枝広邸) | 文化館 | 幕末から三代続いた開業医の邸宅です。歴史が息づき、文化の薫りが漂う数寄屋造りの建物です。四季折々の自然のなか、お茶やお花はもちろんさまざまな集いなどに利用できます。 |
| | | 福山市園芸センター(松永) | 植物園 | 市民に花と緑に満ちた憩いの場を提供する総合園芸センターです。センター内には2,000種30,000本が植栽され、桜・ばら・藤といった季節ごとの美しい花が楽しめます。 |
| | | 県立福山少年自然の家 | 研修施設 | 200人宿泊できる宿泊施設やキャンプ場・フィールドアスレチック・野外炊飯場・グラウンド・体育館などを備えています。 |
| | 社寺・史跡 | 阿伏兎観音(磐台寺観音堂)(沼隈) | 神社・仏閣 | 沼隈半島の南端、阿伏兎岬の突端に建つ朱塗りの観音堂は国の重要文化財です。昔から航海安全、また子授け安産の祈願所として広く知られています。磐台寺客殿は、桃山様式の代表的禅宗方丈建築。欄間の意匠も優美です。 |

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|--------------|-----------------|---------------------------------------|------------|--|
| 松永・内海・沼隈 | レクリエーション・スポーツ施設 | 内海フィッシャリーナ | レクリエーション施設 | 素晴らしいロケーションの中に、最新設備を備えたクラブハウスがあり、ヨット、レジャーボートなど136隻を収容できます。 |
| | | 王城・切石山公園 | | 横島にある切石山の頂上から眺める瀬戸内海、島々の景観は格別です。標高は228mでミニハイキングにぴったりです。 |
| | | クレセントビーチ(内海) | | 青く穏やかな海、真っ白い砂浜は夏のリゾートに最適です。多くの海水浴客が訪れます。 |
| | | ドルフィンビーチ(内海) | | 天然芝で整備された南国ムードただようリゾートビーチです。キャンプ場もあります。 |
| | | ぬまくまハーブガーデン | | ラベンダー・ローズマリー・タイムなどのハーブや、四季折々の花が一年中楽しめます。また、レストランではハーブ料理やクラフトが楽しめます。 |
| | | 福山ファミリーパーク | | グリーンライン沿いに位置する、1994年(平成6年)に開園した山上の公園です。公園内は広く、遊具のほかにも「クジャク園」や「しか園」なども整備されています。 |
| | | 平家谷 つばき園(沼隈) | | 入り口に椿門と堀がそびえ、小川や滝が流れる庭園に、全国から集めた約400種類・約500本が、初春には可憐な花と香りで谷を包みます。見頃は3月上旬～4月下旬です。 |
| | | 平家谷 花しょうぶ園(沼隈) | | 平通盛がしょうぶ湯につかったという言い伝えにちなんで整備されたもので、初夏には約500種類・約48,000本の花しょうぶが谷あいを染めます。見頃は6月です。 |
| | | 三世代テーマパーク みろくの里 | | 20種類以上のアトラクションがあり、昭和30年代の街並みを再現した体験ゾーンが人気の施設です。また遊園地をはじめプール、美術館、温泉、宿泊施設などを有し、1年を通じて楽しめる総合レジャーランドです。 |
| | | サンパルホール沼隈 | | 会議場・ホール |
| | 行事・イベント | 能登原とんど(沼隈) | — | 高さ約10メートル、派手な飾りつけが美しいとんどが、田園地帯を練り歩く正月の風物詩です。福山市無形民俗文化財に指定されている伝統行事です。(実施時期/1月) |
| | | 田島定置網観光(内海) | | 内海町沖の定置網で漁を体験し、帰港後、船頭料理を満喫していただきます。(実施時期/4月中旬～5月末、7月～9月下旬(要予約)) |
| | | 横島底曳網観光(内海) | | 内海町沖で底曳網漁を体験し、船上または棧橋で捕れたての魚で魚料理を堪能していただきます。えびや魚のお土産もあります。(実施時期/4月中旬～10月末(要予約)) |
| | | ゲタリンピック(松永) | | 日本一の巨大ゲタを乗せたソリ(総重量:約1.5t)を引っ張りその距離を競う「巨大ゲタさばり」をはじめ、ゲタと備後置表の障害物競争などの競技や、楽しいステージなど多彩なイベントが繰り広げられます。(実施時期/9月中旬) |
| | | 内海ふれあいフェスティバル | | アサリのつかみどり、魚すくいや唄、笑いの楽しいステージが繰り広げられ、特産物も多数販売されます。(実施時期/10月上旬) |
| 東村町かかし祭り(松永) | | かかしコンテスト、仮装かかし、模擬店などが行われます。(実施時期/12月) | | |

【神辺エリア】

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|------|-----------------|---|-------|---|
| 神辺 | 文化施設 | 菅茶山記念館 | 博物館 | 菅茶山をはじめとする文人や神辺町ゆかりの画家達の作品を収集・研究・展示する記念館です。 |
| | | 福山市神辺歴史民俗資料館 | 資料館 | 原始から古墳時代までの発掘による出土品及び中世神辺城の出土品から近代・現代に至る民具などを展示しています。 |
| | 社寺・史跡 | 備後国分寺 | 神社・仏閣 | 奈良時代に全国66ヶ所建立された国分寺のひとつです。1972年(昭和47年)からの発掘調査で講堂・金堂・塔の跡が発見されました。 |
| | | 葛原しげる童謡歌碑 | 文学碑 | 教育者・童謡作詞家であった葛原しげるは、数多くの童謡とともに全国約400校の校歌の作詞も手がけています。生家前には代表作「夕日」の童謡碑があります。 |
| | | 神辺本陣 | その他 | 江戸時代に参勤交代の大名が休泊した施設です。建物は当時の姿をそのまま約260年間伝えています。広島県の重要文化財に指定されています。 |
| | | 葛原勾当旧宅 | | 葛原勾当は1812年(文化9年)現在の神辺町八尋に生まれ、15歳で勾当の位階を許され、葛原勾当と称されました。ここに残る旧宅は勾当によって1845年(弘化2年)に建てられたものであります。 |
| | | 堂々川の砂留 | | 福山藩によって江戸後期に築造された砂防堰堤で堂々川の一連の砂留施設8件は、石積堰堤として貴重なことから国の登録有形文化財(建造物)に登録されています。そのなかでも、堂々公園の下にある六番砂留は現存する砂留のなかでも国内最大級の規模を誇っています。 |
| | 廉塾・菅茶山旧宅 | 京都で朱子学を学んだ江戸時代後期の儒学者・菅茶山が郷里に帰って開いた塾です。頼山陽が塾頭を務めていたこともありました。国の特別史跡に指定されています。 | | |
| | レクリエーション・スポーツ施設 | 堂々公園 | 公園 | 堂々川の砂留堆砂敷を利用して作られた、緑と石と水辺の調整のとれた日本庭園風の公園です。 |
| | | 吉野山公園 | | 神辺城跡北側にある吉野山公園は春には1,000本の桜、梅雨時は、600本のアジサイが咲き誇ります。 |
| | 行事・イベント | かんなベウッドフェスティバル | — | 八丈岩の鬼伝説、青鬼の「権」と赤鬼の「八」をメインキャラクターにした「かんなベウッドフェスティバル」は、約3メートルの巨大お好み焼きなど色々なイベントがあります。(実施時期/11月) |

【特産品】

表-4 観光資源の種別

| エリア名 | 区分 | 名称 | 分類 | 概要 |
|------|----------------|---|--------|---|
| 全 | 土産品, 特産品, 郷土料理 | い草製品 | 特産品 | 表皮が厚く、粒ぞろいがよく光沢があり、青味の強い銀白色で、長期間変色しないのが特徴です。 |
| | | 海産珍味(鯛の浜焼・鯛ちくわ・ガス天など) | | 鯛の浜焼は、江戸時代参勤交代のとき、江戸の妻子に郷土の土産品にと造らせた海産珍味です。今では高級土産品として旅行者に喜ばれています。紺碧の瀬戸内海に育つ鯛や小魚の群、その新鮮な魚は鯛の浜焼、干しサヨリ、ママカリ味醂干、小魚一夜干などに加工され、練製品としては、小鯛を主原料とする鯛ちくわ、天竺鯛を主原料とするガス天などがこの地方独特のものとして全国的に有名です。 |
| | | 下駄(松永) | | 全国生産の約6割を占める松永下駄。大衆的実用下駄として、親しまれています。 |
| | | ばらグッズ | | 福山市の花「ばら」にちなんだピンバッジやジャム、クッキーなど「ばら」に関するさまざまなグッズ。お洒落な「ばらグッズ」は、お土産にも人気です。 |
| | | 備後絣 | | 伊予・久留米とならぶ三大絣のひとつです。綿、ウール、正絹など幅広く利用されています。 |
| | | 保命酒 | | 江戸時代前期から頼に伝わる日本最古の健康のための薬味酒です。桂皮、朝鮮ニンジンなど16種類もの和漢薬エキスをたくみに配合した、コクのある甘口酒です。ベリーをもてなした酒としても有名です。 |
| | | 銘菓 | | 「福山三福」。福山の特産品(くわい・あんず・保命酒)を生かしたお菓子です。 |
| | | 福山琴 | 伝統的工芸品 | 全国生産の7割強を占める福山琴。見事な職人技術と音色の良さから、今では高級琴の代名詞です。中国・四国地方で最初に、地域団体商標(地域ブランド)の認定を受けました。 |
| | | くわい | 農産品 | 日本一の産地となり全国へ出荷されている福山のくわいは、瀬戸内海の温暖な気候と芦田川の豊かな水に生まれ、鮮やか青藍色で肉質がしまり、おせち料理やお祝い料理には欠かせないものとなっています。 |
| | | ぶどう | | 傾斜地を利用して、栽培される。ニューベリーA、ピオーネなどは、品質、味覚ともに名声を博しています。 |
| | | 桃 | | 神辺町では、明治時代から栽培しており、品質もよく贈答品などに使用されます。 |
| 鯛料理 | 郷土料理 | 頼の名物といえば鯛料理。鯛そうめんをはじめ、鯛飯・鯛しゃぶ・鯛茶漬けなどの趣向を凝らしたさまざまな鯛料理です。 | | |

4 観光アンケート調査

(1) アンケート調査概要

観光施設関係者や、イベント主催者、観光関連事業者、産業観光関係者が実施している事業内容及び本市の観光に関する意見などを把握するためアンケート調査を実施しました。

アンケート対象及び調査方法は以下のとおりです。

表-5 対象別アンケート回収数

| 対象 | 調査方法 | 配布数（枚） | 回収数（枚） |
|---------|------|--------|--------|
| 観光施設関係者 | 郵送 | 33 | 25 |
| イベント主催者 | 郵送 | 16 | 13 |
| 観光関連事業者 | 郵送 | 20 | 14 |
| 産業観光関係者 | 郵送 | 8 | 7 |

また、市外住民から市民となった人の観光資源に対するイメージと、本市の観光施策の問題点を把握するため、福山商工会議所の協力を得て、赴任者へのアンケートを実施し、50人の会員から回答を得ました。

さらに、宿泊者や都市圏住民（東京・大阪）の本市の観光に関するイメージや意見などを定性的に把握するためアンケート調査を実施しました。ただし、調査サンプル数が少なく統計学的な精度が低いため参考資料として掲載しました。

表-6 アンケート回収数(都市圏住民)

| 対象 | 調査方法 | 配布数（枚） | 回収数（枚） |
|-----------|-------------|--------|--------|
| 宿泊客 | 宿泊施設にて配布・回収 | 145 | 45 |
| 都市圏住民（東京） | 対面アンケート | — | 50 |
| 都市圏住民（大阪） | 対面アンケート | — | 50 |

(2) 調査結果（観光施設関係者）

本市の観光資源に対するイメージを把握するため、観光施設関係者へのアンケート調査を実施しました。

①調査項目

- ・誘客方法
- ・本市全域の観光 など
- ・誘客のターゲット

②調査時期

2006年（平成18年）7月

③調査結果

観光施設関係者アンケートでは、25施設からアンケートの回答を得ることができました。調査結果の概要を表-7に示します。

表-7 アンケート調査結果（観光施設関係者）

| 調査項目 | 回答 |
|----------------------|--|
| 来客エリア | ・「市内」(82%)からの来客が最も多くなっています。 |
| 来客数の推移 | ・半数以上の施設が近年の来客数はやや増加の傾向にあります。（「増加傾向にある」(12%)、「どちらかといえば増加傾向にある」(40%)） |
| 誘客媒体 | ・「HP公開」(44%)と「自主作成した冊子・パンフレット」(44%)が最も多くなっています。 ・「特に自主的な誘客策を行っていない」(36%)施設もありました。 |
| 誘客ターゲット | ・「県内」(33%)が最も多く、次いで「近隣市町」(25%)でした。 |
| 取り組んでいる誘客策 | ・「ソフト面で特色をだしている」(68%)が最も多く、次いで「ハード面で特色をだしている」(32%)でした。 ・具体的な内容として、「来客数による入場料の割引」や「小・中学生向けの展示品解説パンフレットの作成」などがあります。 |
| 来客数を増やすための現状での課題 | ・わかりやすい案内や看板をつくる。 ・大型バスの駐車場を確保する。 ・尾道に比較して観光宣伝が少ない。もっともっとテレビなどで宣伝する必要がある。 |
| 誘客事業実施のネットワーク参加 | ・「同業者間の参加意欲」(83%)、「業者の枠を超えた参加意欲」(74%)、「福山市の枠を超えた参加意欲」(73%)と誘致事業実施のネットワークへの参加意欲が高くなっています。 |
| 観光に特化したホームページへの参加 | ・「有料の場合の参加意欲」(27%)、「無料の場合の参加意欲」(86%)と、約60%の意欲の違いがあります。 |
| 観光振興のために、特に力を入れるべき内容 | ・「観光ガイドマップなどの作成」(78%)が最も多く、次いで「インターネットを活用した情報発信」(67%)となっています。 |

(3) 調査結果（イベント主催者）

本市の観光資源に対するイメージを把握するため、イベント主催者へのアンケート調査を実施しました。

①調査項目

- ・誘客方法
- ・本市全域の観光 など
- ・誘客のターゲット

②調査時期

2006年（平成18年）7月

③調査結果

イベント主催者のアンケートでは、13団体からアンケートの回答を得ることができました。調査結果の概要を表-8に示します。

表-8 アンケート調査結果（イベント主催者）

| 調査項目 | 回答 |
|----------------------------|--|
| 来客エリア | ・ほとんどのイベントにおいて「市内」(92%)からの来客が最も多くなっています。 |
| 来客数の推移 | ・イベントにより増加傾向と減少傾向がおおよそ半々に分かれています。(「増加傾向」(15%), 「やや増加傾向」(31%), 「かわらない」(15%), 「やや減少傾向」(31%), 「減少傾向」(8%)) |
| 誘客媒体(複数回答) | ・「TV, ラジオの使用」(54%)が最も多く、次いで「HP公開」(46%)と「出版物への広告」(46%)でした。 |
| 誘客ターゲット(複数回答) | ・「近隣市町」(46%)が最も多く、次いで「市内」(31%)となっており、近郊の住民を誘客ターゲットとしています。 |
| 取り組んでいる誘客策 | ・「ソフト面の特色」(63%)が最も多くなっています。 ・具体的な内容として、「幼児・小学生を対象としたイベントの開催」や「新聞広告・折り込みチラシの作成」などがあります。 |
| 来客数を増やすための現状での課題 | ・駐車場の確保と公共交通機関利用の推進 ・市民参画による運営方法をとっているが、祭の規模が拡大し運営の参画団体が増えているが、行政と連携をとりやすい環境づくりが必要。 |
| 誘客事業実施のネットワーク参加 | ・「同業者間の参加意欲」(83%), 「業者の枠を超えた参加意欲」(77%), 「福山市の枠を超えた参加意欲」(83%)と誘致事業実施のネットワークへの参加意欲が高くなっています。 |
| 観光に特化したホームページへの参加 | 「有料の場合の参加意欲」(42%), 「無料の場合の参加意欲」(100%)と、有料と無料で約60%の意欲の違いがあります。 ・特に無料の場合においては、全てのイベント関係者が参加意欲を示しています。 |
| 観光振興のために、特に力を入れるべき内容(複数回答) | ・「観光ガイドマップなどの作成」(78%)が最も多く、次いで「インターネットを活用した情報発信」(67%)でした。 |

(4) 調査結果（観光関連事業者）

本市の観光資源に対するイメージを把握するため、観光関連事業者へのアンケート調査を実施しました。

①調査項目

- ・誘客方法
- ・本市全域の観光 など
- ・誘客のターゲット

②調査時期

2006年（平成18年）7月

③調査結果

観光関連事業者アンケートでは、14団体からアンケートの回答を頂いております。調査結果の概要を表-9に示します。

表-9 アンケート調査結果（観光関連事業者）

| 調査項目 | 回答 |
|-------------------|--|
| 誘客媒体 | ・「インターネットでホームページを公開している」(77%)が最も多く、次いで「自主的に制作した冊子などを発刊している」(46%)でした。 |
| リピート客獲得のための施策 | ・メンバー制を導入し、特典をつける。 ・当観光地での特色と四季折々の美しさの説明をする。 |
| 誘客事業実施のネットワーク参加 | ・「同業者間の参加意欲」(82%)、「業者の枠を超えた参加意欲」(83%)、「福山市の枠を超えた参加意欲」(92%)と誘致事業実施のネットワークへの参加意欲が高くなっています。 |
| 観光に特化したホームページへの参加 | ・「有料の場合の参加意欲」(42%)、「無料の場合の参加意欲」(91%)では、約50%の意欲の差があります。 |
| 福山市の魅力 | ・交通(主要な)のアクセスが良い。 ・鞆の浦の景観・歴史・文化。 |
| 福山市の課題 | ・主要なイベントがマンネリ化している。 ・リピーターを呼べるイベント、観光資源が少ない。 ・年間を通じて長期に呼べる観光資源がない。 |
| 誘客のための条件 | ・交通網、駐車場の整備。 ・全国へイベント情報の発信、広報の充実。 ・身体的に不自由な方への配慮。 |
| 誘客にとって悪条件となる条件 | ・観光の魅力が中途半端なものが多い。(マンネリ化) ・交通網、駐車場が整備されていない。 |
| 自由回答 | ・若い世代の人たちに新しい発想・考え方を次々提案してもらえるシステム作りを検討。 ・備後地区の観光資源の整備と話題性のある商品開発を進め、全国にアピールしてほしい。 |

(5) 調査結果（産業観光関係者）

本市で実施されている産業観光を把握するため、産業観光関係者へのアンケート調査を実施しました。

①調査項目

・取組内容

・本市全域の観光 など

②調査時期

2006年（平成18年）7月

③調査結果

産業観光関係者アンケートでは、7団体からアンケートの回答を頂いております。調査結果の概要を表-10に示します。

表-10 アンケート調査結果（産業観光関係者）

| 調査項目 | 回答 |
|----------------|--|
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル工場を開放し、参加者にトレー回収の協力を依頼している。 ・工業見学より製品の紹介及び健康法についての説明を行っている。また、夏休みなどでは、空容器を使用した工作教室などを行っている。 ・福山市内の小学生を対象とした社会見学の受入れや企業祭における一般市民への工場見学会の実施。 |
| 福山市の魅力 | <ul style="list-style-type: none"> ・城下町としての風情。古き歴史のある鞆の浦とその独自文化。 ・海、山、川などの自然に囲まれた地形と温暖な風土。 ・交通アクセス。 |
| 福山市の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・目玉となるものがない、観光資源の少なさ。 ・観光支援施設がなく、来訪者への心遣いや、観光をしてもらおうという意欲が弱い。良い観光資源があるにもかかわらず、活かしきれていない。 ・観光地への公共交通機関が少ない。 |
| 誘客のための条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光スポットの多彩さ。 ・今以上に福山に来てもらいたいというアピールが必要。恒例の観光行事を行うだけでなく、「福山」という街をアピールできるキーワードを見つけ出し、観光資源を有効活用していく。 |
| 誘客にとって悪条件となる条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・玄関口となる福山駅周辺の景観が損なわれている。城下町としての名残を感じにくい。 ・駅周辺に活気が感じられず、治安状態などにも不安が残る。 |
| 自由回答 | <ul style="list-style-type: none"> ・人が多数集まる施設の設置、誘致。 |

(6) 調査結果（赴任者）

市外住民から本市の市民となった人の観光資源に対するイメージと、本市の観光施策の問題点を把握するため、赴任者（福山赴任者倶楽部会員）へのアンケートを実施しました。

①調査項目

- ・観光資源の認知度
- ・観光資源の興味度合
- ・任務終了後の再訪意向 など

②調査時期

2006年（平成18年）9月

③調査結果

赴任者アンケートでは、50人からアンケートの回答を得ることができました。調査結果の概要を表-11に示します。

表-11 アンケート調査結果(1/2)

| 調査項目 | 回答 | | |
|-------------------|---|---|---|
| | 中国地方出身者 (17人) | 中国地方以外出身者 (33人) | 合計 (50人) |
| 1 赴任以前の観光資源の認知度 | 1.福山城 12人(71%) 2.鞆の浦 7人(41%) 3.ばら祭 6人(35%) 4.なし 3人(18%) | 1.福山城 12人(36%) 2.鞆の浦 10人(30%) 3.鯛網 4人(12%) 4.なし 15人(45%) | 1.福山城 24人(48%) 2.鞆の浦 17人(34%) 3.ばら祭 9人(18%) 4.なし 18人(36%) |
| 2 赴任後認知した観光資源 | 1.福山城 16人(94%) 2.鞆の浦 15人(88%) 3.ばら祭 14人(82%) 4.仙酔島 12人(71%) | 1.鞆の浦 30人(91%) 2.福山城 24人(72%) 3.鯛網 23人(70%) 4.ばら祭 21人(64%) | 1.鞆の浦 45人(90%) 2.福山城 40人(80%) 3.ばら祭 35人(70%) 4.鯛網 34人(68%) |
| 3 訪れたことがある観光地 | 1.福山城 14人(82%) 2.鞆の浦 13人(76%) 3.ばら公園 12人(71%) 4.ばら祭 11人(65%) | 1.鞆の浦 30人(91%) 2.福山城 26人(79%) 3.ばら公園 21人(64%) 4.ばら祭 18人(55%) | 1.鞆の浦 43人(86%) 2.福山城 40人(80%) 3.ばら公園 33人(66%) 4.ばら祭 29人(58%) |
| 4 後任の赴任者に伝えたい観光情報 | 1.小魚のおいしさ 8人 2.鞆の浦、仙酔島 6人 3.福山城 5人 4.ばら祭 2人 | 1.鞆の浦、仙酔島 11人 2.小魚のおいしさ 9人 3.福山城 5人 4.くわい 2人 | 1.鞆の浦、仙酔島 17人 2.小魚のおいしさ 17人 3.福山城 10人 4.ばら祭 3人 |

表-11 アンケート調査結果(2/2)

| 調査項目 | 回答 | | |
|-----------------|---|--|---|
| 回答者 | 中国地方出身者 (17人) | 中国地方以外出身者 (33人) | 合計 (50人) |
| 5 任務終了後観光での再訪希望 | 1.必ず来訪したい 2人 2.どちらかといえば 2人 3.考えにくい 11人 4.考えていない 2人 | 1.必ず来訪したい 2人 2.どちらかといえば 9人 3.考えにくい 12人 4.考えていない 10人 | 1.必ず来訪したい 4人 2.どちらかといえば 11人 3.考えにくい 23人 4.考えていない 12人 |
| 6 再訪の際の希望観光地 | 1.鞆の浦, 仙酔島 2人 2.内海町 1人 2.神辺町 1人 2.居酒屋 1人 | 1.鞆の浦, 仙酔島 5人 2.ばら公園 2人 3.福山城 1人 3.鯛網 1人 | 1.鞆の浦, 仙酔島 7人 2.ばら公園 2人 3.福山城 1人 3.鯛網など 1人 |
| 7 観光についての提言 | 1.尾道や倉敷にある素朴で、おしゃれな感覚があると、老若男女とも来訪するのではないか。 2.市内の観光地を巡る公共交通機関の整備が必要。 3.土産品を含めて、全国区といえるものが見当たらない。 4.関西にいても、福山の観光案内を目、耳にすることがない。 5.福山市の観光地は市街地、中心部から少し遠い。 6.PR不足。 7.鞆の浦をもっとPRすべき。 8.福山市の地場産業とも組み合わせた企画も必要。 9.地元の人が、観光地、郷土料理を口コミでPRする。 10.市として観光資源を持つよりは、地の利を活かし、周囲の観光の起点、ベースキャンプとしての機能整備に力を注ぐべきだ。(ホテル、旅館、温泉の拡充、観光バスなどの利便アップなど) 11.市の観光資源のみで、大都市圏から誘客を図ることは困難。倉敷、尾道、しまなみ海道、竹原と連携し観光客をひきつける。観光資源も、神社仏閣のみではなく、特色あるレストランも多く、気楽に飲めるバーも多いので、これらをPRしては。 12.自動車、自転車の交通マナーが悪い。 13.鞆の浦の整備をすべき。 14.駅前開発が必要。 15.城はあるが、城下町としてのイメージが感じられない。 16.福山の史跡の価値を認知させる努力とPRが不足。 | | |

【参考一】 宿泊客アンケート調査結果

本市の観光資源に対するイメージを把握するため、宿泊客へのアンケート調査を実施しました。

①調査項目

- ・ 来訪目的・来訪回数
- ・ 来訪場所
- ・ 観光のための情報入手先
- ・ 本市の印象

②調査時期

2006年（平成18年）7月

③調査結果

宿泊施設でのアンケート調査により45人からアンケートの回答を頂いております。調査結果の概要を表-14に示します。

表-12 アンケート回収状況(宿泊客)

| 年齢 | 男性(人) | 女性(人) | 不明(人) | 合計(人) |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 20歳未満 | — | 1 | — | 1 |
| 20代 | 1 | 3 | — | 4 |
| 30代 | 4 | 6 | — | 10 |
| 40代 | 8 | 2 | — | 10 |
| 50代前半 | 3 | 2 | — | 5 |
| 50代後半 | 1 | — | — | 1 |
| 60代 | 2 | — | — | 2 |
| 70歳以上 | 2 | 1 | — | 3 |
| 不明 | — | — | 9 | 9 |
| 合計 | 21 | 15 | 9 | 45 |

表-13 アンケート回収状況(回収地区別)

| 地区 | 男性(人) | 女性(人) | 不明(人) | 合計(人) |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 市内（鞆の浦地区以外） | 17 | 7 | 3 | 27 |
| 鞆の浦地区 | 4 | 8 | 6 | 18 |
| 合計 | 21 | 15 | 9 | 45 |

表-14 アンケート調査結果(宿泊客)1/2

| 調査項目 | 市街地（鞆の浦地区以外） サンプル数：27人 | 鞆の浦地区 サンプル数：18人 |
|------------|---|--|
| 福山市までの交通手段 | ・「新幹線」(11人)が最も多く、次いで「自家用車」(7人)でした。 | ・「自家用車」(11人)が最も多く、次いで「新幹線」(4人)でした。 |
| 来訪目的 | ・「ビジネス」(17人)が最も多く、次いで「友人・知人に会う」(5人)でした。 ・観光を目的とした回答もみられた：温泉で身体をゆっくり休める(1人)。 | ・「温泉でゆっくり身体を休める」(10人)と「自然景観を楽しむ」(10人)が最も多くなっています。 |
| 観光での来訪回数 | ・観光を目的とした来訪回数が「ない」(15人)が最も多くなっています。 ・来訪経験者では、1～2回(7人)が多くなっています。 | ・観光を目的とした来訪回数が「1回」(8人)が最も多く、次いで「2回」(4人)でした。 |
| 来訪場所（経験） | ・「福山城博物館を含めた周辺の美術館、博物館のエリア」(5人)と「ばら公園」(5人)が最も多く、次いで「福山市鞆の浦歴史民族資料館」(3人)でした。 | ・「対潮楼」(3人)が最も多くなっています。また、特定の場所ではありませんが「福山ばら祭」(3人)も多くなっていました。 |
| 来訪場所（今回） | ・「福山城博物館を含めた周辺の美術館(6人)、博物館のエリア」(6人)と「日本はきもの博物館」(6人)が最も多く、次いで「仙酔島」(4人)でした。また、特定の場所ではありませんが、「福山ばら祭」(6人)も多くなっています。 | ・「仙酔島」(11人)が最も多く、次いで「保命酒店」(8人)でした。 |
| 来訪希望場所 | ・「ばら公園」(7人)と「仙酔島」(7人)が最も多く、次いで「福山ばら祭」(4人)、「福山鞆の浦弁天島花火大会」(4人)でした。 | ・「仙酔島」(5人)が最も多く、次いで「保命酒店」(4人)と「福山市鞆の浦歴史民族資料館」(4人)でした。 |
| 情報入手先 | ・「旅行雑誌」(7人)が最も多く、次いで「友人・知人の紹介」(6人)と「インターネット・メールマガジン」(6人)でした。 | ・「旅行雑誌」(10人)が最も多く、次いで「旅行代理店のパンフレット・ポスター」(6人)と「インターネット・メールマガジン」(6人)でした。 |

表-14 アンケート調査結果(宿泊客)2/2

| 調査項目 | 市街地（鞆の浦地区以外） サンプル数：27人 | 鞆の浦地区 サンプル数：18人 |
|-------------------|--|--|
| 福山市の印象 （良かった点） | <ul style="list-style-type: none"> ・古くからにぎやかだったと思われる商店街がきれいにしてありました。 ・夕食をホテルではなく街に出て食べました。食べ物の店がたくさんありよかったです。又どの店も美味しかった。 ・毎週土曜日（6月から8月中旬）に夜店が開催されている点 ・人が親切で街が落ち着いている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人が暖かく、自然にあふれ、のんびりしている。 ・鞆の浦の景色が良かった。 ・標識がたくさんあって、どこへ行くのもわかりやすかった。 |
| 福山市の印象 （悪かった点） | <ul style="list-style-type: none"> ・店の閉まる時間がはやい。 ・交通の便が悪い。 ・駅前(南側)が整っていない感じ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道が狭い，駐車場が少ない。 |
| 自由回答 | <ul style="list-style-type: none"> ・福山という街の印象があまりないのです。「これ！」といった名産，名所，名物が頭に浮かばないです。 ・ぜひインフラ整備のまちづくりではなく，独自性のあるまちづくりを。 ・通日も広く歩き易い。観光案内図も街の中心にはたくさんあり，現在地が分かりやすい。 ・市バスで安価な2時間，4時間，6時間，8時間位の周遊観光があれば良いと思う。バス停に案内がある様に見えたが，近づきたい感じだった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・心をとても大切にしているコンセプトの国民宿舎は全国的にも珍しく貴重だと思います。これからもこの宿のスタイルを変えず続けて欲しいと思います。 ・いろいろと目新しいイベントを行ってほしいです。 |

【参考一2】 都市圏住民アンケート調査結果

都市圏（東京・大阪）における本市と本市の観光資源の認知度と来訪意向を把握するため、都市圏住民（東京・大阪）へのアンケート調査を実施しました。

①調査項目

- ・本市の認知度
- ・本市への来訪経験
- ・県の観光資源（本市含む）の認知度
- ・県の観光資源（本市含む）への来訪経験
- ・県の観光資源（本市含む）への来訪意向

②調査時期

2006年（平成18年）7月

③調査場所

- ・東京：東京駅前，日比谷公園
- ・大阪：大阪駅前

④調査結果

対面アンケート調査により東京、大阪各50人からアンケートの回答を頂いております。調査結果の概要を表-16に示します。

表-15 アンケート回収状況(都市圏住民)

| 年齢 | 東京（人） | | 大阪（人） | |
|-------|-------|----|-------|----|
| | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 |
| 20代 | 8 | 5 | 2 | 3 |
| 30代 | 4 | 6 | 9 | 4 |
| 40代 | 4 | 7 | 8 | 7 |
| 50代 | 3 | 4 | 6 | 1 |
| 60代以上 | 3 | 6 | 5 | 5 |
| 小計 | 22 | 28 | 30 | 20 |

表-16 アンケート調査結果(都市圏住民)1/3

| 調査項目 | | 東京 | 大阪 |
|---|------|---|-------------------------|
| 福山市の認知数 サンプル数： 50人 | | 27人 | 13人 |
| 福山市と聞いて 思いつくもの (自由回答) 回答数： 東京…27人 大阪…13人 | 観光資源 | ・福山城(3人) ・瀬戸内海(2人) ・ばら(1人) | ・鞆の浦(5人) ・歴史的町並み(2人) |
| | その他 | ・福山通運(3人) ・福山大学(2人) ・工業・取引先(2人) ・福山駅(1人) | |
| 来訪経験 サンプル数： 東京…27人 大阪…13人 | | 4人 | 3人 |

() 内は回答者数

表-16 アンケート調査結果(都市圏住民)2/3

| 調査項目 | 東京 | 大阪 |
|---|-----------------------------|--|
| 観光資源の認知度 (選択回答：以下参照) サンプル数： 東京…27人 大阪…13人 | 9人 ・福山城 ・ばら ・海(砂浜) | 11人 ・鞆の浦 ・明王院 ・福山城 ・ばら ・ビーチ ・仙酔島 ・鯛 |
| 観光での来訪経験サン プル数： 東京…9人 大阪…11人 | 4人 | 9人 |
| 再来訪意向 サンプル数： 東京…4人 大阪…9人 | 3人 | 8人 |

【観光地選択肢】

宮島， 広島平和記念資料館， 原爆ドーム， 瀬戸内海， 鞆の浦， 仙酔島， 明王院， 福山城， 福山ばら祭， 鞆の浦観光鯛網， 尾道地域， 倉敷地域

表-16 アンケート調査結果(都市圏住民)3/3

| 調査項目 | 東京 | 大阪 |
|--|---|--|
| 観光資源認知 /広島県・福山市 (選択回答:以下参照) サンプル数: 50人 | <ul style="list-style-type: none"> ・「宮島」(45人),「広島平和記念資料館」(40人),「原爆ドーム」(43人),「瀬戸内海」(43人)の事は,ほとんどの人が認知しています。 ・福山市内で最も認知されている観光資源は「鞆の浦」(11人),次いで「福山城」(10人)でした。 ・その他の観光資源(1~3人)の認知度は低くなっています。 ・尾道地域(29人)と倉敷地域(33人)は福山市と比較すると認知度が高くなっています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「宮島」(49人),「広島平和記念資料館」(49人),「原爆ドーム」(50人)の事は,ほとんどの人が認知しています。 ・福山市内で最も認知されている観光資源は「鞆の浦」(14人),次いで「仙酔島」(9人)でした。 ・その他の観光資源の認知度(1~3人)は低くなっています。 ・尾道地域(31人)は福山市と比較すると認知度が高くなっています。 |
| 観光地への来訪経験 /広島県・福山市 (選択回答:以下参照) サンプル数: 50人 | <ul style="list-style-type: none"> ・「宮島」(20人),「原爆ドーム」(18人),「瀬戸内海」(18人)への来訪経験は高くなっています。 ・福山市内の観光資源への来訪経験は総じて低い,その中で最も高いものは「鞆の浦」(4人)でした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「広島平和記念資料館」(46人),「原爆ドーム」(46人)の来訪経験は高くなっています。 ・福山市内では,「鞆の浦」(8人),「仙酔島」(6人)への来訪経験が高くなっています。 |
| 観光地への(再)来訪希望 /広島県・福山市 (選択回答:以下参照) サンプル数: 50人 | <ul style="list-style-type: none"> ・「宮島」(28人)への(再)来訪希望が最も多く,次いで「瀬戸内海」(19人)でした。 ・福山市内では,「鞆の浦」(5人)が最も多くなっています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「特になし」(22人)が最も多くなっています。 ・観光資源の中では,「宮島(15人)」が最も多くなっています。 ・福山市内では,「鞆の浦」(7人)が最も多くなっています。 |

【観光地選択肢】

宮島, 広島平和記念資料館, 原爆ドーム, 瀬戸内海, 鞆の浦, 仙酔島, 明王院, 福山城, 福山ばら祭, 鞆の浦観光綱網, 尾道地域, 倉敷地域



■ 福山で開催される魅力的なイベントや祭り ■



祇園祭